

(参考資料)

(1) 名護市新設廃棄物処理施設の概要等

施設面積	① 敷地面積	22385.00 m ²	
	② 建築面積等	建築面積	延床面積
	焼却施設	2045.29 m ²	3543.99 m ²
	リサイクルセンター	1514.13 m ²	2065.90 m ²
	管理棟	395.57 m ²	823.42 m ²
	計量棟	137.56 m ²	110.05 m ²
	草木ヤード	0.00 m ²	550.00 m ²
	車庫棟	562.47 m ²	565.35 m ²
	洗車棟	135.00 m ²	135.00 m ²
関連設備	門扉・囲障、構内道路、駐車場、照明灯等		

(2) 新設廃棄物処理施設の運転条件及び公害防止基準の設計値等

① 焼却条件

- ア 焼却室出口温度 850℃以上
- イ 上記焼却温度でのガス滞留時間 2秒以上
- ウ 煙突出口排ガスの一酸化炭素濃度
30ppm以下 (O₂12%換算値の4時間平均値)

② 排出ガス基準 (ごみ焼却施設)

- ア ばいじん濃度 0.01g/m³N以下 (O₂12%換算)
- イ 塩化水素濃度 50ppm以下 (O₂12%換算)
- ウ 硫黄酸化物濃度 30ppm以下 (O₂12%換算)
- エ 窒素酸化物濃度 100ppm以下 (O₂12%換算)
- オ 水銀 0.03mg/m³N以下 (O₂12%換算)
- カ ダイオキシン類排出濃度 0.1ng-TEQ/m³N以下 (O₂12%換算)
- キ 一酸化炭素濃度 30ppm (4時間平均、O₂12%換算)
100ppm (1時間平均、O₂12%換算)

③ 排ガス基準 (小動物焼却設備)

- ア ダイオキシン類排出濃度 5.0ng-TEQ/m³N以下 (O₂12%換算)

④ 粉じん基準値 (リサイクルセンター)

- ア 集じん器及び脱臭装置排気口出口粉じん濃度 0.01g/m³以下
- イ 作業環境基準 2mg/m³以下

⑤ 騒音基準値

施設稼働時の騒音レベルは、敷地境界線上において、次の基準値以下とすること。

ア 朝	(6 : 0 0 ~ 8 : 0 0)	55	デシベル
イ 昼間	(8 : 0 0 ~ 19 : 0 0)	60	デシベル
ウ 夕	(19 : 0 0 ~ 22 : 0 0)	55	デシベル
エ 夜間	(22 : 0 0 ~ 6 : 0 0)	50	デシベル

⑥ 振動基準値

施設稼働時の振動レベルは、敷地境界線上において、次の基準値以下とすること。

ア 昼間	(8 : 0 0 ~ 19 : 0 0)	65	デシベル
イ 夜間	(19 : 0 0 ~ 8 : 0 0)	60	デシベル

⑦ 悪臭基準値

施設稼働時の特定悪臭物質の濃度は、敷地境界線上において、臭気強度 3.5以下（臭気指数21以下）とすること。

特定悪臭物質名	臭気強度に対応する濃度
アンモニア	5 ppm
メチルメルカプタン	0.01 ppm
硫化水素	0.2 ppm
硫化メチル	0.2 ppm
二硫化メチル	0.1 ppm
トリメチルアミン	0.07 ppm
アセトアルデヒド	0.5 ppm
プロピオンアルデヒド	0.5 ppm
ノルマルブチルアルデヒド	0.08 ppm
イソブチルアルデヒド	0.2 ppm
ノルマルバレルアルデヒド	0.05 ppm
イソバレルアルデヒド	0.01 ppm
イソブタノール	20 ppm
酢酸エチル	20 ppm
メチルイソブチルケトン	6 ppm
トルエン	60 ppm
スチレン	2 ppm
キシレン	5 ppm

プロピオン酸	0.2 ppm
ノルマル酪酸	0.006 ppm
ノルマル吉草酸	0.004 ppm
イソ吉草酸	0.01 ppm

⑧ 焼却灰基準（含有基準）

- ア ダイオキシン類 3 ng-TEQ/g以下
- イ 塩化物濃度 3 %以下

⑨ 飛灰固化物の基準（溶出基準）

- ア アルキル水銀化合物 検出されないこと
- イ 水銀又はその化合物 0.005mg/L以下
- ウ カドミウム又はその化合物 0.009mg/L以下
- エ 鉛又はその化合物 0.3mg/L以下
- オ 六価クロム又はその化合物 1.5mg/L以下
- カ ひ素又はその化合物 0.3mg/L以下
- キ セレン又はその化合物 0.3mg/L以下
- ク 1, 4-ジオキサン 0.5mg/L以下

⑩ 飛灰固化物の基準（含有基準）

- ア ダイオキシン類 3 ng-TEQ/g以下

（３） 用役条件

① 電気

- ア 受電電圧：6.6 kV、1 回線

② 用水

- ア 生活用水 : 上水
- イ プラント用水 : 上水、再利用水、雨水

③ 排水

- ア 生活用水 : 処理後、プラント再利用
- イ プラント用水 : 処理後、全量再利用

④ 燃料

- ア 灯油

⑤ 余熱利用

- ア 場内プラント関係余熱利用設備（空気予熱器、温水発生器、他）
- イ 場内建築関係余熱利用設備（足湯、給油用熱交換器、他）
- ウ 場外余熱利用施設（温水発生器、温水配管）

(4) 焼却施設における計画年間処理量

単位：t/年

項目\年度	R 7	R 8	R 9	R 10
燃やしていいごみ	15,056	15,090	15,124	15,158
草木	179	179	179	179
粗大ごみ（可燃性）	67	67	67	67
散乱ごみ	11	11	11	11
処理後残渣（可燃性）	15	15	15	15
合 計	15,328	15,362	15,396	15,430

(5) リサイクルセンターにおける計画年間処理量

単位：t/年

項目\年度	R 7	R 8	R 9	R 10
燃えないごみ	62	63	63	63
粗大ごみ（不燃性）	69	70	70	70
小 計	131	131	133	133
空き缶	111	111	111	111
空きびん・ガラス類	798	799	797	796
ペットボトル	135	134	133	132

(6) 計画年間直接資源化量

単位：t/年

項目\年度	R 7	R 8	R 9	R 10
古紙類	531	527	523	519
古着	34	34	34	34
金属類	132	133	133	133
有害ごみ	30	30	30	30